

いずのくにあたみおんせんしけんせつ

『伊豆国熱海温泉試験説』

明治一一（一八七八）年刊

鈴木 良三／編

明治七年に創設された東京司薬場（現在の国立医薬品食品衛生研究所の前身）は、これまで経験に基づいて伝えられてきた熱海温泉の効能を、調査によって、科学的に明らかにしようとしてしました。

翌年、現地にて、成分や温度を調査し、その結果は、「熱海鉾泉試験説 附定性定量表医治効用」、「鉾泉治療指導法」として「内務省衛生局雑誌 第二号」（明治九年七月発行）に発表されました。

本書は、賀茂郡熱海村（現熱海市）在住の編者が、この雑誌記事に加筆して、編集・出版したものです。

